第 23 回雲南懇話会　　2012 年 12 月 15 日

講　演　要　旨

１．「ラダック、チベット密教の地を訪問して、2012 年」ーゴンパと祭り、インドヒマラヤ/ ザンスカールの未踏峰紹介ー

AACK　　芝田 正樹

2012 年 7 月、インド北西部にある未知の谷、テマサ谷・ゴンペ谷・ハプタル谷を踏査。標高 6000m 前後の未踏峰 20 座を同定した。高山植物が咲き乱れ、ブルーポピーの群落があった。ラダックは「小チベット」と称されており、チベット密教が厚く信奉されている。ゴンパを巡りお祭りを見物し、チベット仏教が今も心の拠りどころとなっていることを知った。中国で迫害され、インドへ逃げ込んだチベット難民問題を垣間見ることができた。

2.「インドヒマラヤ、ナンダデビ山群カランカ峰（6931m）北壁初登攀」ー2009 年第 17 回ピオレドール授賞、そして今ー

ICI 石井スポーツ㈱、明治大学炉辺会　　天野 和明

ローツエ日本人無酸素初登頂他 8000m峰６座登頂の実績を持ち、夏には富士山公認ガイドとしての顔も持つ。（以下、明大 HP より）　国際ピオレ・ドール賞は、その年の世界で最も優れた山岳登攀に対して贈られる賞で、天野氏が一村文隆、佐藤祐介の両氏と隊を組んで 2008 年 9 月に行った、インド北部にあるカランカ（6931m）北壁の新ルートからの登攀が、アルパイン・スタイルの優れたクライミングとして評価を受け、受賞した。（編集；前田）

3.「古箏の調べ」ーさえずりが聞こえますか，波を感じますかー

古箏演奏　伊藤 志津子 他

私と古箏との出会い、先生との出会いについて、始めに触れます。中国古典楽器「古箏」は 2000 年以上も前から弾かれていて、「秦箏」とも呼ばれていた。弦数が時代とともに 13（唐）、16（清）、18、21、25 と変化している。現在は２１弦がもっとも普及している。古箏の「曲の特徴」は「地域の特徴」であり、それが「流派」と呼ばれているが、日本の琴の流派とは異なる。古箏演奏とそれぞれの曲の簡単な解説を行います。

4.「中国（雲南）の南進策」ー中国は GMS（Greater Mekong Subregion）諸国と協調出来るかー

日タイ・ビジネスフォーラム　　吉川 和夫

1992 年、ベトナム、カンボジャ、ラオス、ミャンマー、タイ国の５ヶ国と雲南省をメンバーとした地域協力プログラム「GMS」が結成された。 輸送及びエネルギーのインフラ整備を手始めに、成果を挙げてきた。同域内の開発は南進を目論む中国にとって好都合であり、中国は積極的に協力をしたが、高圧的、独善的、利己的だった。経済制裁が解除されたミャンマーを始め、環境が変わり、各国の中国への対応が変わって来た。中国との関連で GMS 諸国の動向につき、例示しつつ説明します。

5.「ヒマラヤ周域における少数民族による草食家畜の放牧方式」ー中国東チベット高原とインド国ジャンムー・カシミール州でのヤク・ヒツジ・ヤギの比較ー

宮崎大学農学部畜産草地科学科教授　　長谷川 信美

ヒマラヤ山脈周域の高山草原では、少数民族による草食家畜の放牧が行われています。中国青海省玉樹蔵族自治州でチベット族によるヤク、海北蔵族自治州で回族によるヤク、インド国ジャンムー・カシミール州でバックラワル族によるヤギ、グッジャル族によるヒツジとウシ、チャンパ族によるヤク・ヤギの放牧方式について、調査を行っています。ヒマラヤ山脈北東部と南西部での家畜種と放牧方式の違いを植生と野生動物も含めて紹介いたします。